

2023.12月

女性チャレンジ応援拠点だより



コラム 「自分へむけるリーダーシップ」

いよいよ今年も12月になりました。過ぎてみれば、「コロナ」は一旦終息して海外旅行者で国内の観光地は活気を取り戻しましたが、世界の情勢にはまた悲惨な状況が加わりました。わたしたちを取り巻く環境変化はいっそう不確実性に包まれています。せめて自分自身の動きについてはしっかりマネジメントしていきたいものです。

そこで今月の『A1 実用元年、際立つ〈あなたならでは〉の想い、チャレンジ』は、「自分へむけるリーダーシップ」です。先月25日に今年度2回目の「拠点ゼミ」があり、テーマは「わたらしいリーダーシップスタイルとは？」でした。リーダーというからには複数の人の中でのことです。ゼミでの議論もそうでしたが、「ソリスト」として活動する方の多いみなさんには、他者へのリーダーシップの素養もふくめて、自分のめざすところへ到達できるように自分自身を導くことが何より大事ですね。

さて、地位や職位としてのリーダーシップに共通する役割は「判断」、「決断」、「結果責任」の3つと言えますが、自分自身へむけるリーダーシップも、この3つが重要な鍵になります。ちなみに、「判断」とは、「物事の真偽・善悪などを見極め、それについて自分の考えを定めること」。「決断」は、「意志をはっきり決定すること」。

真偽や善悪もさることながら、自分のおかれた状況の判断も重要です。その判断を誤れば、決断も間違っただものになり、当然、結果も“こんなはずじゃなかった…”ということになります。場合によっては取り返しのつかない事態を招きます。

「判断」が適切だったかどうかは、結果として現れないと評価できない面もあります。結果的に事件や事故に発展する場合がありますがそれは特別として、一般的には、結果が良くても悪くても、受け入れるしかありません。結果を細かく〈検証〉し、そこから学び、判断力を高めていくだけです。この〈検証〉を怠ると、自分へむけるリーダーシップ自体、向上しません。

ところで適切な判断を誤らせるものは、何でしょうか。いろいろとありそうですが、「精神的なゆとりをなくしている」が一番に挙がりそうです。精神的なゆとりをなくすと、じっくり観察する、考えることができなくなるもの。多忙でも休息の時間を自分にとらせることが大切です。

もう一つだけ挙げるとすれば、「自己顕示の誘惑」。『自分自身の自己顕示の誘惑に用心すること』（中井久夫）に教えられることですが、自分以外の人や物事に注意や関心が低くなり、判断のための重要なポイントや変化を見逃しそうです。

2024年もすぐ、一年一年の積み重ねがみなさんのめざすところへつながります。新年もまた自分自身をよりよく導いていきましょう。「女性チャレンジ応援拠点」はそんなみなさんをスタッフ一同ひきつづき後押ししていきます。みなさまのご利用をお待ちしております。

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

※ 開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※ 開室時間内は自由に出入りいただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

